

# 商 団 連

## 第322号

平成22年10月1日

1部 50円

発行所  
 全国卸商業団地協同組合連合会  
 東京都港区虎ノ門1-8-10  
 セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)  
 電話 03-3591-1251(代表)  
 編集発行人 平澤和人

### 平成二十二年度第一回事務局長会開催

去る九月九日(木)、群馬県高崎市の高崎卸商社街協(エグセルホール)において、平成二十二年度第一回卸商連事務局長会が開催された。

商連事務局長会は、その前身である事務局長会が、昭和三十九年三月に開催された。その後、昭和四十四年十月に現在の事務局長会に衣替えし、大阪で第一回を開催してから、今回の高崎での会議が通算で第八十一回目の事務局長会となった。当日は、北は北海道、南は沖縄の全国各地から六十一団地六十二名が出席した。はじめに事務局長会代表世話人である、大阪船場織機卸商社協の田村正喜事務局長の挨拶、地元高崎卸商社協理事長であり商連事務局長の松本修平氏より歓迎挨拶に続き、全員協議会が開かれ、平成二十一年度報告書および収支決算報告書が行われ、審議の結果原案通り承認された。また、事務局長会世話人として、先の通常総会において商連専務理事に選任された栗原眞事務局長が世話人に加わることが承認された。商連事務局長会今後の日程、要望事項、卸商業団地機能向上支援事業について説明が行われた。

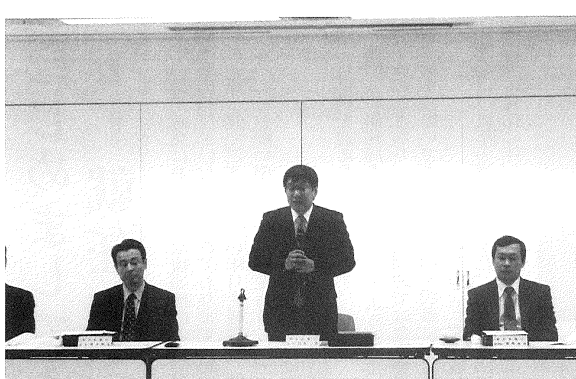


局長会議

続いて、中小企業庁経営支援部商業課藤野琢巳課長から今後の卸地対策について、独立行政法人中小企業基盤整備機構地域経済振興部地域振興企画課中島龍三郎課長並びに高度化事業推進課藤田陽課長より、行政刷新会議による評決結果および高度化事業の改正の方向性、高度化事業の設備リース事業における太陽光パネル活用事例について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部佐藤隆久上席審査役より景気の現状、成長戦略総合支援プログラムについて、一般社団法人日本卸売協会小林靖事務局長よりリテールサポート研修事業、卸売業・小売業等連携のモデル事業について説明が行われた。

高崎卸商社街協の団地内を視察し、高崎卸商社街協吉濱達三副理事長より、組合の現状、共同事業、街づくり、地域商店街活性化事業、卸商業団地機能向上支援事業による団地再整備事業等について説明を受け、活発な質疑応答が行われた。その後休憩をはさみ、田村代表世話人の進行により、団地の現状等についての意見交換が行われた。協ベイトウン尾道高永英明専務理事より老朽化した連棟式施設の活性化について、協仙台卸商センター板垣文弘専務理事より、組合の一体性、求心力の維持について発表が行われた。

つぎのとおり(敬称略)  
 【中小企業庁】  
 藤野琢巳(経営支援部商業課長)  
 【群馬県】  
 戸塚俊輔(産業経済部商政課長)



高原長官あいさつ

平成二十二年九月三十日(木)東京都千代田区霞が関の商工会館において、中小企業庁幹部と商連役員との懇談会が十二時三十分より開催された。

当日は、臨時国会の開催を控え大変お忙しい中、新長官をはじめ九名の幹部にご出席いただき、当連合会側は、尾池会長以下二十七名の役員が出席した。尾池会長の挨拶に続き、

近藤賢二(指導部長)  
 【高崎商工会議所】  
 原浩一郎(会頭)  
 【株式会社商工組合中央金庫】  
 佐藤隆久(本店審査第二部上席審査役)  
 吉田憲太(本店審査第二部審査役)  
 【一般社団法人日本卸売協会】  
 小林 靖(事務局長)

### 中小企業庁幹部との懇談会

経済産業省人事異動により、中小企業庁長官に高原一郎氏が就任したため開催した。

当日は、臨時国会の開催を控え大変お忙しい中、新長官をはじめ九名の幹部にご出席いただき、当連合会側は、尾池会長以下二十七名の役員が出席した。尾池会長の挨拶に続き、

その後、尾池会長に議長をお願いし議事に入った。平成二十二年度事業の実施状況について事務局より説明した。説明事項は下記の通り。一「高度化事業の事業規模維持について」の要望書について、中小企業基盤整備機構の高度化事業をめぐる最近の状況を説明した。二「卸商業団地機能向上支援事業について」平成二十二年度二次募集について説明。三「商連グループ保険について」加入促進のお願い。以上、異議なく了承された。その後、今後のスケジュールについての説明があり、午後二時に役員会は終了した。



説明の様子

平成二十二年九月三十日(木)、中小企業庁幹部との懇談会に引き続き、商工会館において午後三時三十分より、平成二十二年度第二回商連役員会が開催された。今回の役員会には、関係諸機関の担当者が人事異動により交替したことから、新担当者にもご来賓として出席していただいた。

議事に先立ち、中小企業庁経営支援部商業課藤野琢巳課長(前職：内閣法制局第四部参事官)、中小企業基盤整備機構地域経済振興部大田雄彦部長(前職：ジェトロ・ベルリン・センター次長)、商工組合中央金庫審査第二部古賀直人部長(前職：深川支店長)よりご挨拶をいただいた。

その後、尾池会長に議長をお願いし議事に入った。平成二十二年度事業の実施状況について事務局より説明した。説明事項は下記の通り。一「高度化事業の

の後、生産や物の流れ等が減少し、その後持ち直してきたが、ここに来て円高の影響もあり、さらに不安が高まり厳しい状況にある。しかしながら、経済産業省は先般、大臣が代わり、副大臣、政務も新しくなった。いずれも中小企業政策に対して非常に熱心であり、経済産業省は全体が中小企業庁になったような勢いで中小企業政策に取り組んでいる」と挨拶された。

その後、中小企業庁幹部の方々の自己紹介が行われ、

当連合会の役員については、栗原専務理事が紹介を行った。

【中小企業庁幹部の出席者(敬称略)】  
 高原 一郎(長官)  
 豊永 厚志(次長)  
 徳重 有治(経営支援部長)  
 大田 聡(長官官房参事官)  
 宮本 隆(取引課長)  
 中石 孝斉(財務課長)  
 十時 憲司(取引課長)  
 丸山 進(経営支援課長)  
 藤野 琢巳(商業課長)  
 鈴木 隼人(商業課課長補佐)  
 岡本 勇二(商業課課長補佐)

### 平成二十二年度第二回役員会開催

# 本年度ブロック会議はじまる

商団連の平成二十二年度ブロック会議は、さる九月十六日開催された北海道ブロック会議を皮切りに始まった。

## 〔北海道ブロック会議〕

北海道ブロック会議は、九月十六日帯広市のホテル日航ノースランド帯広において、六団地二十一名が出席し開催された。

会議は倉光康雄商団連理事(協石狩新港卸センター理事長)の主催者挨拶、地元(協)帯広卸売センター塩野谷和男理事長の挨拶、来賓紹介につき北海道経済産業局流通産業課中野敦課長より来年度中小企業関係概算要求等について、独立行政法人中小企業基盤整備機構野澤隆寛理事より高度化事業による集積の重要性、事業仕分けについて、同機構地域経済振興部高度化事業推進課赤塚純一課長代理より行政刷新会議による評決結果および高度化事業の改正の方向性、高度化事業の設備リース事業における太陽光パネル活用の事例について、同機構北海道支部宮地正巳支部長並びに企画調整部花沢文雄部長より北海道支部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部佐藤隆久上席審査役より景気の現状と成長戦略総合支援プログラムについて、商団連栗原眞専務理事より今後の日程、卸商業団地機能向上支援事業、要望事項について、それぞれ資料に基づき説明が行われた。



北海道ブロック会議

引き続き、団地より現状について(協)札幌総合卸センターは、卸商業団地機能向上支援事業の進捗状況と脱退企業問題、(協)北見総合卸センターは、共同会館の改築問題と脱退の自由に関する問題、(協)旭川流通センターは、アスベスト施設に関して、(協)石狩新港卸センターは、第二の創業と組合のこれからについて、(協)帯広卸売センターは、開拓団地の再開発計画について意見交換が行われた。

◆東北ブロック会議 十月五日(六)日 宮城 ◆近畿ブロック会議 十月十四日 大阪 ◆中・四国ブロック会議 十月二十九日(三十日) 高知 ◆中部ブロック会議 十一月十日 福井 ◆九州ブロック会議 十一月二十五日(二十六日) 熊本 ◆関東ブロック会議 十二月二日(三日) 神奈川

## 各地区の催し

**東北** 東北卸商業団地連絡協議会は、七月七日(水)、青森県八戸市の八戸第二ワシントンホテルにおいて、平成二十二年度通常総会を開催した。当日は、十五団地二十五名が出席し、平成二十一年度事業報告及び収支決算、平成二十二年度事業計画及び収支予算案、役員改選の件について審議し、その後、先進事例報告、意見交換が行われた。最後に、臨済宗南宗寺田口豊貴住職による「価値観の豊育」という講演が行われた。

## 中部

中部地区卸商業団地事務局協議会は、八月五日(水)、石川県加賀市山代温泉において、平成二十二年度通常総会を開催した。当日は五団地五名が出席し、平成二十一年度事業報告及び決算報告、平成二十二年度事業計画及び予算案について審議し、その後、会員組合の現状と問題点についての情報交換が行われた。

## 関東

神奈川県卸商業団地組合協議会は、七月二十二日(木)、神奈川県横浜市磯子区において平成二十二年度の定期総会を開催した。当日は四団地二十六名が出席し、

## 近畿

社団法人大阪卸商連合会団地部会は、六月十一日(金)、メルパルク大阪において平成二十二年度の総会を開催した。当日は九団地二十

# はじめまして！ 就任のご挨拶

本年の通常総会において、専務理事に選任をいただきました栗原 眞でございます。よろしくお願いいたします。よろしくお願いします。

創立44年目を迎えた歴史ある商団連の事務局をお預かりすることとなり、気持ちの引き締まる思いでありま



私も、会員

な流通機能の構築が求められております。卸団地も永い年月を経過し、開設時から様変わりしており、個々の団地それぞれに様々な解決すべき課題が山積しております。

このような中であって、商団連では今後の進むべき方向を明確に示す「商団連ビジョン」を作成しました。

また、個々の卸団地の課題解決やビジョン策定に向けて取り組む卸

商業団地機能向上支援事業」が創設されておられ、その積極的な活用が進んでおります。今後とも、いろいろな場面での後付き合いを願っています。ご挨拶とさせていただきます。

最後に私ごとになりますが、30年以上続いても飽きがない趣味がゴルフであります。調子のよいときも悪いときも気持ちを乱さず心穏やかにプレーし、相手に不快感を与えないことがマナーと心がけています。今後とも、いろいろな場面での後付き合いを願っています。ご挨拶とさせていただきます。

## 商団連福祉共済 加入状況

加入状況	(平成22年10月1日現在)		
加入団地	93団地	6,360名	17,435口

## 全国卸商業団地厚生年金基金 月次業務状況

(平成22年8月末 現在)

○基金加入事業所数	1,183件
○加入員数	(男)19,215人 (女)7,913人 (合計)27,128人
○年金受給権者数	(男)11,915人 (女)5,653人 (合計)17,568人
○慶弔金件数	結婚祝金 202件 弔慰金 10件

## 商団連グループ保険(会社掛)のおすすめ

※組合職員並びに会員組合員企業に勤務する従業員の方々がご加入できます。

不慮の事故による死亡の場合 750万円



病気による死亡の場合 500万円

※40才男性5口の場合

掛金・月額1,410円

不慮の事故による入院の場合 1日3,750円



不慮の事故による障害の場合 175万円～25万円

※ご加入手続き等詳細については、各組合事務局または商団連事務局にお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階 TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社